（別記）

令和８年度深川市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米の作付面積割合が約５９％であり、深川市の農業生産額の約７０％強を占める基幹作物である。また、転換作物については小麦・大豆・そばの面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

８年産の主食米については、主食用米価格の高騰の影響から７年産と比較し９％程度の増産の要望がある。需給環境が改善した場合は需要に応じた生産を再び行う（主食用米に戻す）ことを前提に、「生産の目安」の順守と、水田活用米穀への取組が必要である。

小麦、大豆、そばの主要畑作品目については、連作、排水不良、土壌酸度の不適正等により収量の低下を招いている。透排水性改善の徹底、土壌 PH 等の化学性改善、適期・適量は種の実施、雑草対策、適期防除等の改善が必要である。

本市の農業従事者の高齢化率（農業従事者のうち６５歳以上の農業従事者の占める割合）は４０％となっており、後継者についても全体の約９％である。今後の農業を担っていく農業者及び営農組織等の育成や、農業の人手不足を解決する労働力支援への取組みが重要である。水田面積維持が今後の課題となっていることから、農地中間管理機構の事業を活用する等引き続き担い手への集積・集約を図っていくことが必要である。

このような中、深川市地域農業再生協議会では、水田収益力強化ビジョンの策定に当たり、農業者や農業者団体等の意向を踏まえ、当協議会の会議を経て検討を進めてきたところである。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

水田農業の高収益化・水田での所得向上を図るため、産地交付金を活用しながら水田をフルに活用し、実需者ニーズに対応した高品質化や付加価値向上に努め、消費者に評価される・売れる農産物を生産するとともに、販路拡大のための取組みを推進していくことが重要である。水稲・畑作作物等の複合的な経営に対応するため、生産力の高位安定化と持続的生産体系の推進、“三方よし”の地域農業確立のため、新たな販売手法の構築と消費者の満足感を創造する活動強化、コスト低減に資する取組を基本とする。

さらに、農産物の加工・販売などの取組みにより付加価値の向上に結び付け、将来的には地域ブランドの確立を図るほか、農作業の効率化などによる生産コスト縮減を進める必要がある。生産性や品質の向上による効率化・安定的な農業経営の確立を図るためには区画整理などの圃場整備や機能低下した暗渠排水及び用排水路施設の計画的・持続的な整備を進めつつ、高収益作物の導入や転換作物等の付加価値向上の取組みを図る。

水張りを最大限確保し需要に応じた生産を基本として、主食用米を中心に非主食用米への取組みや、輸出基地として取組みを加速化させ、新市場開拓用米・加工用米の販売数量の拡大・販路拡大を図る。

高収益作物の導入にあたっては、青果物については良品質出荷に向けた栽培管理、新規作付推進に向けた取組み、土地利用型作物（南瓜・さつまいも・にんにく）の導入推進、労働力不足・省力化対策、健全かつ持続可能な施設運営とそれぞれのニーズに合わせた具

体的な提案を行い青果物生産の維持・拡大を図り、きたそらち産農産物の価値向上へ向け取り進める。

花きについては、農家所得の維持・向上に向けた取組みとして、既設ハウスの有効活用を軸に、個々の経営・労働力環境にマッチした作付提案を行い、単位収量の増加に資するような新たな栽培技術について取り進める。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

地域の地理的条件等を踏まえた、きたそらち型作付体系（水稲・小麦・大豆・そば）を基本とし、連作障害回避等のため水稲と転換作物とのブロックローテーション体系の構築を進めることができるよう、乾田直播の普及、集中管理孔の整備等を推進する。ブロックローテーションの導入にあたっては、米のタンパク質含有率の増加や、排水性の問題・作業効率の低下などの様々な課題が生じることから、地域の課題を整理し課題解決に向け関係機関・団体と連携し対応策を検討する。

水田面積維持を基本にしながらも、各地域で必要な畑地化の取組みを進められるように各関係機関と連携して水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着している地域・圃場を点検する。点検状況及び要望に対応することにより過去３か年で３７７ｈａ畑地化しており、今後も必要に応じて畑地化を地域の作付状況、作業効率と生産性、農地流動化、地域計画等の地域の方向性を考慮し協議・取り進めを行う。

４　作物ごとの取組方針等

市内の約 8,000ｈａの水田について、適地適作を基本として産地交付金を有効活用しながら、稲作地帯独自の輪作体系の確立と、更なる省力化及び生産技術の励行によって、生産性の向上と低コスト化を図ることとする。また、市内畑作物の作付は小麦・大豆で約 50%、そば約 40%を占めている。そばについてはその殆どが連作であり、畑作物の基本である輪作の考え方に反した作付体系で低収や雑草問題などの連作障害が発生しているため、そばからの小麦・豆類、国産飼料への転換を推進する。小麦・大豆などの輸入依存度の高い品目において「きたそらち型作付体系」による生産性向上を図り食料自給率・自給力の向上に寄与し、畑作物の安定生産と生産者の所得向上を目指す。

（１）主食用米

実需者から求められる責任産地として「日本一の米どころ」を目標に、安心・安全な米づくりの推進を行うとともに、需要に応じた生産を確実に行い、安定確収と集荷率向上、生産の目安を超過した分については、飼料用米・加工用米・新市場開拓用米等への転換を図る。

（２）非主食用米

ア　飼料用米

産地交付金を有効に活用しながら、多収性品種の導入等の生産技術を確立し、コスト削減を図りつつ、市内酪農・畜産農家との結びつき及び系統販売の強化を図ることとし、需要に応じた生産を図ることとする。

イ　米粉用米

産地交付金を有効に活用し、コスト削減を図りつつ需要者のニーズに応じた品種で生産を図る。

ウ　新市場開拓用米

主食用米の国内需要が縮小している事から産地交付金を有効に活用しながら、販売情勢を踏まえた生産を図ることとし継続的な取組みを行う。

エ　WCS 用稲

飼料価格が高騰する中で、地場産飼料（WCS）を安定的に確保する事で飼料コストの低減に繋がる。産地交付金を有効に活用しながら、需要に応じた生産を行うとともに耕種農家と畜産農家との連携を強化し、安心・安全な飼料（WCS）の生産を図る。

オ　加工用米

冷凍飯米等を中心に加工用米の需要が伸長している事から、産地交付金を有効に活用しながら、販売情勢を踏まえた生産を図ることとする。

（３）麦、大豆

小麦・大豆については、平成２８年から新調製施設を活用し、品質の高位平準化に取組んでいるが、依然として輪作体系の確立、品質・収量の安定化と地力の維持が課題となっている。産地交付金を有効に活用し、積極的な輪作の推進・土壌改良・排水対策等の生産力向上の取組みを推進する。また、地域所得を確保する為には水稲と国の戦略作物である小麦・大豆を組み合わせた水田の輪作化及び生産拡大をする必要がある。小麦・大豆の生産拡大にあたっては、担い手への集積が急速に進む状況を踏まえ、団地化を推進し、地域計画の取組との連携を図り農地集約化を行うことで、効率的作業を可能とする生産性の高い小麦・大豆産地づくりを推進していく。

（４）そば

連作による地力の低下と排水不良と土壌酸度の不適正による収量の低下が課題となっている。産地交付金を有効に活用し積極的な輪作の推進・土壌改良・排水対策等の生産性向上の取組みを推進する。

（５）地力増進作物

「北海道緑肥作物等栽培利用方針（改訂版）」（平成１６年３月策定）に基づく地力増進作物（えん麦、えん麦野生種、ライ麦、とうもろこし、イタリアンライグラス、ソルガム、クロタラリア、ギニアグラス、スーダングラス、ハブソウ、ステビア、ミックスフラワー、大豆、アカクローバ、クリムソンクローバ、ヘアリーベッチ、シロカシラ、なたね、マリーゴールド、ねぎ、ひまわり、ハゼリソウ）の作付けにより、クリーンで良質な農産物を安定的に生産するために緑肥作物を積極的に導入し健全な土作りを推進する。

（６）高収益作物

農業所得向上に向けて施設園芸品目・高収益露地野菜の作付誘導を図るべく、産地交付金を有効に活用し作付拡大を図る。

（７）その他の畑作物

小豆、てん菜についても、産地交付金を有効に活用し、土壌改良・排水対策等の収益力向上の取組みを推進する。また、そばからの転換による面積拡大を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	4,747.0		5,005.2		4,520.0	
備蓄米						
飼料用米	42.7		36.5		40.0	
米粉用米	1.5		0.0			
新市場開拓用米	63.0		136.0		210.0	
WCS用稲	189.1		214.7		180.0	
加工用米	142.5		114.1		50.0	
麦	830.1		692.0		927.0	
大豆	523.5		440.0		580.0	
飼料作物	6.9		3.1		10.0	
・子実用とうもろこし						
そば	796.3		609.7		916.0	
なたね						
地力増進作物						
緑肥他	237.5		322.3		113.7	
高収益作物	51.1		43.7		50.8	
・野菜	32.4		24.9		30.8	
・花き・花木	18.7		18.8		20.0	
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他	36.5		23.2		43.0	
・てん菜	11.3		12.3		16.0	
・小豆	24.7		7.9		27.0	
・雑穀	0.5		3.0			
畑地化	377.3		403.8		403.8	

６　課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
1	小麦・大豆（黒大豆含む）	小麦・大豆の収益力向上支援	小麦作付面積	（７年度）	830.1ha	（10年度）	710.0ha
			小麦反収	（７年度）	420.0kg	（10年度）	440.0kg
			大豆作付面積	（７年度）	523.6ha	（10年度）	460.0ha
			大豆反収	（７年度）	277.0kg	（10年度）	305.0kg
2	そ　ば	そばの収益力向上支援	作付面積	（７年度）	796.7ha	（10年度）	620.0ha
			反　　収	（７年度）	39.0kg	（10年度）	75.0kg
3	てん菜	てん菜の収益力向上支援	作付面積	（７年度）	11.6ha	（10年度）	14.0ha
			反　　収	（７年度）	8.3ｔ	（10年度）	8.7ｔ
4	小　豆	小豆の反収高位安定化	作付面積	（７年度）	24.7ha	（10年度）	13.0ha
			平均反収	（７年度）	224.0kg	（10年度）	235.0kg
5	園芸作物等（野菜、花き、薬草、別紙一覧表）	高収益作物作付支援	園芸作物等作付面積	（７年度）	48.8ha	（10年度）	48.0ha
6	新市場開拓用米	新市場開拓用米作付助成	作付面積	（７年度）	63.0ha	（８年度）	136.0ha
			取組面積	（７年度）	0ha	（８年度）	122.4ha
7	そ　ば	そばの収益力向上支援（追加配分）	作付面積	（７年度）	794.6ha	（10年度）	620.0ha
			反　　収	（７年度）	40.0kg	（10年度）	75.0kg
8	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成（追加配分）	作付面積	（７年度）	63.0ha	（８年度）	136.0ha
9	地力増進作物	地力増進作物作付支援（追加配分）	作付面積	（７年度）	0ha	（10年度）	5.0ha
10	新市場開拓用米	複数年契約助成（追加配分）	作付面積	（７年度）	0ha	（８年度）	23.7ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：深川市地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	小麦・大豆の収益力向上支援	1	16,500	小麦、大豆（黒大豆含む）	融雪促進対策、排水対策等
2	そばの収益力向上支援	1	5,700	そば	融雪促進対策、排水対策等
3	てん菜の収益力向上支援	1	29,000	てん菜	融雪促進対策、排水対策等
4	小豆の反収高位安定化	1	28,000	小豆	融雪促進対策、排水対策等
5	高収益作物作付支援	1	24,500	野菜、花き、薬草	販売目的で作付、適切な肥培管理
6	新市場開拓用米作付助成	1	10,000	新市場開拓用米	産地交付金全道枠の個票2に準ずる
7	そばの収益力向上支援（追加配分）	1	20,000	そば	融雪促進対策、排水対策等
8	新市場開拓用米取組拡大助成（追加配分）	1	20,000	新市場開拓用米	新規需要米取組計画の認定
9	地力増進作物作付支援（追加配分）	1	20,000	地力増進作物	適期播種、適期鋤き込み等の作業実施、土壌分析の実施
10	複数年契約助成（追加配分）	1	10,000	新市場開拓用米	需要者（又は需要者団体）と複数年の販売契約を締結

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

８　産地交付金の活用方法の明細

１．地域農業再生協議会名

深川市地域農業再生協議会

２．活用予定額の総括表

（単位:円）

協議会等名	配分枠（A+B）			活用予定額
		当初配分 (A)	追加配分 (B)	
深川市地域農業再生協議会	252,194,000	252,194,000		251,625,400

（注）追加配分が未定の段階にあっては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

252,194,000

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3															合計② ※5	所要額 ①×② (円)
				戦略作物							新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物	高収益作物				その他	
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木	果樹	その他の高収益作物		
1	麦(小麦・大麦)・大豆の収益力向上支援	1	16,500	69,200	44,000														113,200	186,780,000
2	そばの収益力向上支援	1	5,700									60,970							60,970	34,752,900
3	てん菜の収益力向上支援	1	29,000																1,230	1,230	3,567,000
4	小豆の反収高位安定化	1	28,000																790	790	2,212,000
5	高収益作物作付支援	1	24,500												2,490	1,880				4,370	10,706,500
6	新市場開拓用米作付助成	1	10,000								13,607									13,607	13,607,000
7	そばの収益力向上支援(追加配分)	1	20,000																	0	0
8	新市場開拓用米取組拡大助成(追加配分)	1	20,000																	0	0
9	地力増進作物作付支援(追加配分)	1	20,000																	0	0
10	新市場開拓用米複数年契約助成(追加配分)	1	10,000																	0	0
合計(基幹)※4			実面積	69,200	44,000						13,607	60,970			2,490	1,880			2,020	194,167	※6 251,625,400
合計(二毛作)※4			実面積																		

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○(耕畜連携)」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3 「面積」は、当初配分により支援を行う使途について記入し、追加配分により支援を行う使途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。
※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。
また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。
※5 ②の合計は、各使途の合計面積を記入してください。
※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
(注)使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4．追加配分等を受けた場合の調整方法

①そば作付に係る追加配分（2.0万円/10a）は整理番号7にて活用する。
②新市場開拓米に係る追加配分（2.0万円/10a）は整理番号8にて活用する。
③地力増進作物に係る追加配分（2.0万円/10a）は整理番号9にて活用する。
④新市場開拓用米の複数年契約に係る追加配分（1.0万円/10a）は整理番号10にて活用する。
⑤個票6の所要額は、計画面積×計画単価＝所要額上限とし、実作付面積に応じて単価を増額・減額調整をする。
⑥追加配分枠（2回目の配分）を受けた場合は、個票で定める上限単価まで一定の率で計画単価の増額調整を行う。
・単価調整係数＝（配分額（当初配分＋追加配分）÷調整対象使途（1.2.3.4.5）計画所要額計
・調整後交付単価（百円未満切り捨て）＝計画単価×単価調整係数（小数点第5以下切捨て）

5．所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

整理番号2の単価を調整し、対応する。

単価調整係数 ＝ （配分額（当初配分＋追加配分）－整理番号2以外の使途の所要額計） ÷ 整理番号2の使途の所要額

交付単価 ＝ 計画単価 × 単価調整係数（小数点第5位以下切捨て）

所要額が配分額を下回り、かつ調整前単価が上限単価に達していない使途がある場合は、該当使途を対象に、上限単価の範囲内で明細4のとおり増額調整を行う。 整理番号2で調整しきれなかった場合については、個票2以外の調整対象使途（1、3、4、5）で一定の率で計画単価減額調整を行う。

6．高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名（野菜、花き・花木、果樹除く）を記載してください。
注2 収益性のわかるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>1</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">小麦・大豆の収益力向上支援</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">小麦・大豆（黒大豆を含む）</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">16,500円/10a（上限額22,000円）</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">当地域の小麦・大豆についてはきたそらち型作付体系にとって主軸な作物であるが、現状、市内の畑作物におけるそばの作付割合いは約40%を占め、その殆どが連作であることから輪作に適した作付形態となっていない。そのため、小麦・大豆の作付面積の拡大を図ることで適切な作付体系を行う必要がある。また、特に小麦については北海道の反収を大きく下回っていることから、品質・収量の向上に資する取組を推進し、大豆については、年度毎の反収のバラツキを抑制し高位標準化を推進し収益力向上を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">目　　標</td><td colspan="2"></td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td><td>令和９年度</td><td>令和１０年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小麦
上段：作付面積
下段：反　　収</td><td>目標</td><td>864.8ha
470.0kg/10a</td><td>692.0ha
430.0kg/10a</td><td>700.0ha
435.0kg/11a</td><td>710.0ha
440.0kg/12a</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>830.1ha
365.7kg/10a</td><td>—
—</td><td>—
—</td><td>—
—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">大豆
上段：作付面積
下段：反　　収</td><td>目標</td><td>521.4ha
300.0kg/10a</td><td>440.0ha
300.0kg/10a</td><td>450.0ha
302.0kg/10a</td><td>460.0ha
305.0kg/10a</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>523.6ha
285.2kg/10a</td><td>—
—</td><td>—
—</td><td>—
—</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">地域が指定する収益力向上技術を導入する取組を支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">〇助成対象者～助成対象作物を販売目的で作付し、適切な肥培管理を行った農業者。

〇対象農地　～水田

〇取組要件　～以下の１～７の取組から３つ以上を実施することとする。
（各取組内容の詳細は別紙）
１．融雪促進対策
２．排水対策
３．土壌分析（pH測定）に基づく適切な酸度矯正
４．土壌診断（熱水抽出窒素等の測定）に基づく適切な施肥
５．除草対策
６．適切な追肥管理（麦）
７．有機質の投入による土作り（たい肥等）</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">〇地域協議会において以下の書類等を確認する。
営農計画書、交付申請書、現地確認、取組要件確認書、作業日誌、生産履歴、購買伝票、土壌分析結果通知票、販売伝票
その他必要に応じて地域協議会が提出を求める書類等
〇適切な肥培管理～地域の普及センターが定める栽培指針等で確認する。</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">〇令和８年１１月末までに以下の方法で確認する。
①作付面積～現地確認、営農計画書、水田台帳等で確認する。
②反　　収～主要な生産者への出荷数量確認。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和10年度まで
取組が課題解決にどの程度寄与しているか具体的に効果検証を行い、翌年度の取組改善に努める。</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>2</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">そばの収益力向上支援</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">そば</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">5,700円/10a（上限10,000円/10a）</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">当地域の小麦・大豆については、きたそらち型作付体系にとって主軸な作物であるが、現状市内の畑作物におけるそばの面積が約40%を占め、その殆どが連作であることから、輪作に適した作付形態となっていない。そのため、小麦・大豆・そば等の輪作を実施することで適切なきたそらち型作付体系となり、安定した品質・収量が可能となる。一方で、そばについては、湿害による低収量が課題となっており、当地域のそばを強く希望している実需者への安定的な供給のためにも、土壌改良や透排水性の改善等の取組により収量の向上を図る必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目　　標</td><td></td><td></td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td><td>令和９年度</td><td>令和１０年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">そ　ば
上段：作付面積
下段：反　　収</td><td>目標</td><td>802.2ha
90.0kg/10a</td><td>609.7ha
70.0kg/10a</td><td>610.0ha
72.0kg/10a</td><td>620.0ha
75.0kg/10a</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>796.7ha
39.0kg/10a</td><td>―
―</td><td>―
―</td><td>―
―</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">地域が指定する収益力向上技術を導入する取組を支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">〇助成対象者～助成対象作物を販売目的で作付し、適切な肥培管理を行った農業者。

〇対象農地　～水田

〇取組要件　～以下の１～７の取組から３つ以上を実施することとする。
（各取組内容の詳細は別紙）
１．融雪促進対策
２．排水対策
３．土壌分析（pH測定）に基づく適切な酸度矯正
４．土壌診断（熱水抽出窒素等の測定）に基づく適切な施肥
５．除草対策
６．適期播種
７．有機質の投入による土作り（たい肥・クローバー等）</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">〇地域協議会において以下の書類等を確認する。
営農計画書、交付申請書、現地確認、取組要件確認書、作業日誌、生産履歴、購買伝票、土壌分析結果通知票、販売伝票
その他必要に応じて地域協議会が提出を求める書類等
〇適切な肥培管理～地域の普及センターが定める栽培指針等で確認する。</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">〇令和８年１１月末までに以下の方法で確認する。
①作付面積～現地確認、営農計画書、水田台帳等で確認する。
②反　　収～主要な生産者への出荷数量確認。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和10年度まで
取組が課題解決にどの程度寄与しているか具体的に効果検証を行い、翌年度の取組改善に努める。</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>3</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">てん菜の収益力向上支援</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">てん菜</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">29,000円/10a（上限額45,500円/10a）</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">当地域のてん菜については品質・収量の年次変動をなくし、安定した生産量の確保が必要となる。実需から求められる産地として、基本技術の励行により品質・収量の高位平準化が課題となっている。産地交付金を有効に活用し、土壌改良・排水対策等の収益力向上に資する取組を積極的に推進し、反収の向上を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目　　標</td><td></td><td></td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td><td>令和９年度</td><td>令和１０年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">てん菜
上段：作付面積
下段：反　　収</td><td>目標</td><td>16.0ha
8.7t/10a</td><td>12.3ha
8.5t/10a</td><td>13.0ha
8.6t/10a</td><td>14.0ha
8.7t/10a</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>11.6ha
7.9t/10a</td><td>―
―</td><td>―
―</td><td>―
―</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">地域が指定する収益力向上技術を導入する取組を支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">〇助成対象者～助成対象作物を販売目的で作付し、適切な肥培管理を行った農業者。

〇対象農地　～水田

〇取組要件　～以下の１～６の取組から２つ以上を実施することとする。
（各取組内容の詳細は別紙）
１．融雪促進対策
２．排水対策
３．土壌分析（pH測定）に基づく適切な酸度矯正
４．土壌診断（熱水抽出窒素等の測定）に基づく適切な施肥
５．除草対策
６．病害虫防除の実施</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">〇地域協議会において以下の書類等を確認する。
営農計画書、交付申請書、現地確認、取組要件確認書、作業日誌、生産履歴、購買伝票、土壌分析結果通知票、販売伝票
その他必要に応じて地域協議会が提出を求める書類等
〇適切な肥培管理～地域の普及センターが定める栽培指針等で確認する。</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">〇令和８年１１月末までに以下の方法で確認する。
①作付面積～現地確認、営農計画書、水田台帳等で確認する。
②反　　収～主要な生産者への出荷数量確認。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和10年度まで</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>4</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">小豆の反収高位安定化</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">小豆</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">28,000円/10a（上限額41,500円/10a）</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">当地域の小豆については品質・収量の年次変動をなくし、安定した生産量の確保が必要となる。実需から求められる産地として、基本技術の励行により品質・収量の高位平準化が課題となっている。　産地交付金を有効に活用し、土壌改良・排水対策等の収益力向上に資する取組を積極的に推進し、反収の安定化を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目　　標</td><td></td><td></td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td><td>令和９年度</td><td>令和１０年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小豆
上段：作付面積
下段：平均反収</td><td>目標</td><td>34.0ha
236.0kg/10a</td><td>7.9ha
230.0kg/10a</td><td>10.0ha
233.0kg/10a</td><td>13.0ha
235.0kg/12a</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>24.7ha
214.5kg/10a</td><td>―
―</td><td>―
―</td><td>―
―</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">地域が指定する反収の高位安定化を導入する取組を支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">〇助成対象者～助成対象作物を販売目的で作付し、適切な肥培管理を行った農業者。

〇対象農地　～水田

〇取組要件　～以下の１～７の取組から２つ以上を実施することとする。
（各取組内容の詳細は別紙）
１．融雪促進対策
２．排水対策
３．土壌分析（pH測定）に基づく適切な酸度矯正
４．土壌診断（熱水抽出窒素等の測定）に基づく適切な施肥
５．除草対策
６．有機質の投入による土作り（たい肥等）
７．病害虫防除の実施</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">〇地域協議会において以下の書類等を確認する。
営農計画書、交付申請書、現地確認、取組要件確認書、作業日誌、生産履歴、購買伝票、土壌分析結果通知票、販売伝票
その他必要に応じて地域協議会が提出を求める書類等
〇適切な肥培管理～地域の普及センターが定める栽培指針等で確認する。</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">〇令和８年１１月末までに以下の方法で確認する。
①作付面積～現地確認、営農計画書、水田台帳等で確認する。
②反　　収～主要な生産者への出荷数量確認。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和10年度まで</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	深川市地域農業再生協議会	整理番号	5
使途名	高収益作物作付支援		
対象作物	園芸作物等（野菜、花き、薬草、別紙一覧表）		
単　　価	24,500円/10a（上限額36,000円/10a）		
課　　題	現状、野菜・花き等の園芸作物の作付誘導を推進しているが、依然として作付面積の拡大が進んでいない状況である。 産地交付金を有効に活用し、高収益作物の作付面積拡大を積極的に推進することで所得向上を図る。		

目　　標			令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度
	園芸作物等 作付面積	目標	55.0ha	43.7ha	45.0ha	48.0ha
		実績	48.8ha	―	―	―

内　　容	対象作物を作付した者に支援する。
具体的要件	○助成対象者～助成対象作物を販売目的で作付し、適切な肥培管理を行った農業者。 ○対象農地　～水田
取組の確認方法	○地域協議会において以下の書類等を確認する。 営農計画書、交付申請書、現地確認、取組要件確認書、生産履歴、購買伝票、販売伝票 その他必要に応じて地域協議会が提出を求める書類等 ○適切な肥培管理～地域の普及センターが定める栽培指針等で確認する。
成果等の確認方法	○令和８年１１月末までに、作付面積について、支払対象面積を集計し確認する。
備考	支援年限　令和10年度まで

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>6</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">新市場開拓用米作付助成</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">新市場開拓用米（コメ新市場開拓等促進事業対象者は除く）</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">10,000円/10a（上限額10,000円/10a）</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">水田を中心とした産地づくりのため、新市場開拓用米について実需者ニーズに応じた生産を推進することで、水張面積の維持・確保を図っているところ。
主食用米作付意向面積が増加傾向にある中、安定的な需要が見込まれる新市場開拓用米の需要に応じた生産に取り組むことが必要だが、新市場開拓用米10ａ当たりの収益が主食用米よりも低く、収益性の安定が課題となっている。
この課題に対応するため、品質向上及び低コスト生産技術の取組を行うことで、収益力の向上を図り、実需者への安定供給体制を確立する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目　　標</td><td colspan="2"></td><td>令和５年度</td><td>令和６年度</td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作付面積
取組面積</td><td>目標</td><td>200.0ha
180.0ha</td><td>205.0ha
184.5ha</td><td>210.0ha
189.0ha</td><td>136.0ha
122.4ha</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>199.2ha
0ha</td><td>211.8ha
28.3ha</td><td>63.0ha
0ha</td><td>－</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">需要者と出荷・販売契約を締結し、新市場開拓用米へ転換する取組を支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">〇助成対象者
出荷契約等に基づき、助成対象作物の作付を行った農業者
〇対象農地
水田
〇取組要件
次の取組のうち、３つ以上取り組むこと
①種子消毒の実施（温湯消毒）
②土壌診断結果に基づく施肥
③ケイ酸資材の施用
④病害虫発生予察情報を基にして適期に病害虫防除を実施
⑤「YES!clean表示制度」等の環境に配慮した生産を実施
（有機JAS、特別栽培農作物を含む）
⑥明暗渠排水の整備、心土破砕、穿孔排水による透・排水性の改善（どれか一つ）
⑦融雪剤散布、収穫後の溝切りによるほ場の乾燥化（いずれか一つ）
⑧GAP（JAグループGAP等）の取組を実施
⑨胴割れ対策として、以下のいずれか一つ以上実施
・間断灌漑や走り水による土壌水分を保つ水管理
・作期の移動、ほ場への灌漑水のかけ流しによる登熟前期の高温対策
⑩幼穂形成期の確認及び冷害危険期の深水管理の実施</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">〇地域協議会において以下の書類等を確認する。
営農計画書、交付申請書、現地確認、取組要件確認書、作業日誌、生産履歴、購買伝票、土壌分析結果通知票、販売伝票、新規需要米出荷契約等数量農業者別一覧、GAPチェックシート
「YES！Clean表示制度」「有機JAS」「特別栽培農作物」の登録関係期間
その他必要に応じて地域協議会が提出を求める書類等
〇一括管理方式による出荷など助成対象面積が特定できない場合うは、上記の書類により対象作物の作付面積を算定した上で次式により助成対象面積を算出
対象作物作付面積　×　取組実施面積　／　水稲作付面積</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">取組面積については令和8年12月末日までに、新規需要米生産集出荷数量一覧表及び販売伝票で確認する。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和8年度まで
取組が課題解決にどの程度寄与しているか具体的に効果検証を行い、翌年度の取組改善に努める。</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>7</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">そばの収益力向上支援（追加配分）</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">そば</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">20,000円/10a以内</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">当地域の小麦・大豆については、きたそらち型作付体系にとって主軸な作物であるが、現状市内の畑作物におけるそばの面積が約40%を占め、その殆どが連作であることから、輪作に適した作付形態となっていない。そのため、小麦・大豆・そば等の輪作を実施することで適切なきたそらち型作付体系となり、安定した品質・収量が可能となる。一方で、そばについては、湿害による低収量が課題となっており、当地域のそばを強く希望している実需者への安定的な供給のためにも、土壌改良や透排水性の改善等の取組により収量の向上を図る必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目　　標</td><td></td><td></td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td><td>令和９年度</td><td>令和１０年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">そ　ば
上段：作付面積
下段：反　　収</td><td>目標</td><td>802.2ha
90.0kg/10a</td><td>609.7ha
70.0kg/10a</td><td>610.0ha
72.0kg/10a</td><td>620.0ha
75.0kg/10a</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>796.7ha
39.0kg/10a</td><td>―
―</td><td>―
―</td><td>―
―</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">地域が指定する収益力向上技術を導入する取組を支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">〇助成対象者～助成対象作物を販売目的で作付し、適切な肥培管理を行った農業者。

〇対象農地　～水田

〇取組要件　～以下の１～７の取組から３つ以上を実施することとする。
（各取組内容の詳細は別紙）
１．融雪促進対策
２．排水対策
３．土壌分析（pH測定）に基づく適切な酸度矯正
４．土壌診断（熱水抽出窒素等の測定）に基づく適切な施肥
５．除草対策
６．適期播種
７．有機質の投入による土作り（たい肥・クローバー等）</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">〇地域協議会において以下の書類等を確認する。
営農計画書、交付申請書、現地確認、取組要件確認書、作業日誌、生産履歴、購買伝票、土壌分析結果通知票、販売伝票
その他必要に応じて地域協議会が提出を求める書類等
〇適切な肥培管理～地域の普及センターが定める栽培指針等で確認する。</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">〇令和８年１１月末までに以下の方法で確認する。
①作付面積～現地確認、営農計画書、水田台帳等で確認する。
②反　　収～主要な生産者への出荷数量確認。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和10年度まで</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>8</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">新市場開拓用米取組拡大助成（追加配分）</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">新市場開拓用米</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">20,000円/10a以内</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">主食用米作付意向面積が増加傾向にある中、需要に応じた生産は極めて重要となる為、将来に向けた取組として、今後大きな需要が見込まれる新たなマーケットを切り拓いていくことは極めて重要な課題。このため、主食用米から新市場開拓用米への転換を継続的に図る必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目　　標</td><td></td><td></td><td>令和５年度</td><td>令和６年度</td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作付面積</td><td>目標</td><td>200.0ha</td><td>205.0ha</td><td>210.0ha</td><td>136.0ha</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>199.2ha</td><td>211.8ha</td><td>63.0ha</td><td>－</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">需要者と出荷・販売契約を締結し、新市場開拓用米へ転換する取組を支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">１，助成対象者
需要者に出荷・販売することを目的として対象作物の生産に取り組む農業者又は集落営農組織とする。

２，取組要件
新規需要米の生産に取組み、新規需要米取組計画に記載されること。</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">１，助成対象者
交付申請書及び営農計画書、出荷契約書、販売伝票、作業日誌等で対象者を確認する。

２，取組要件
新規需要米生産集出荷数量一覧表及び販売伝票で確認する。</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">取組面積については令和8年12月末日までに、新規需要米生産集出荷数量一覧表及び販売伝票で確認する。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和8年度まで</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>9</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">地力増進作物作付支援（追加配分）</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">地力増進作物（別紙一覧）</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">20,000円/10a以内</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">当地域は「水稲・そば・小麦・大豆」によるきたそらち型作付体系を地域ごとに定着を目指すが、現状市内の畑作物におけるそばの作付割合は約40%を占め、その殆どが連作であることから品質・収量の低下が課題となっており、小麦・大豆についても品質・収量向上のため適切な作付体系をとる必要がある。地力増進作物を作付けすることにより連作を回避でき、たい肥を補う有機物供給、作物の品質・収量の安定化、減肥等によるコスト低減、病害虫の発生を抑制する効果も高いことから地力増進作物の導入を推進し生産支援の強化を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">目　　標</td><td colspan="2"></td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td><td>令和９年度</td><td>令和１０年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作付面積</td><td>目標</td><td>8.0ha</td><td>3.0ha</td><td>4.0ha</td><td>5.0ha</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>0ha</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">地力増進作物を作付けし、健全な土づくりを行う場合に支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">〇助成対象者～地力増進作物作付し、適切な肥培管理を行なった農業者。

〇対象農地　～水田
・同一のほ場への連続支援は原則２年間までとする。
・休閑緑肥を対象とする。

〇取組要件　～以下の１～３の取組すべて実施すること。

１．適期播種、適期鋤き込み等の作業実施
緑肥作物等栽培利用指針の休閑緑肥の耕種概要を基本とする。

２．播種前の土壌分析（一般分析）を実施する。
土壌分析を行い分析結果によっては酸度矯正を行う。

３．鋤き込み後の土壌分析（一般分析）を実施する。
地力増進作物を鋤き込んだ後、土壌分析を行い分析結果によっては酸度矯正を行う。</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">〇以下の書類及び現地確認により確認する。
・交付申請書及び営農計画書
・現地確認、購入伝票、土壌分析結果通知票、共済耕地図等</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">〇令和8年11月までに、以下の書類等により確認する。
対象面積～共済耕地図、営農計画書等により対象面積を集約する。種子の購入伝票、土壌分析結果通知票等にて確認する。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和10年度まで</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="3">深川市地域農業再生協議会</td><td>整理番号</td><td>10</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="5">複数年契約助成（追加配分）</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="5">新市場開拓用米（複数年契約２、３年目を除く）</td></tr>
<tr><td>単　　価</td><td colspan="5">10,000円/10a以内</td></tr>
<tr><td>課　　題</td><td colspan="5">主食用米作付意向面積が増加傾向にある中、需要に応じた生産は極めて重要となる為、将来に向けた取組として、今後大きな需要が見込まれる新たなマーケットを切り拓いていくことは極めて重要な課題。このため、主食用米から新市場開拓用米への転換を緊急的に図り複数年契約の取り組みを進める必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">目　　標</td><td colspan="2"></td><td>令和５年度</td><td>令和６年度</td><td>令和７年度</td><td>令和８年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作付面積</td><td>目標</td><td>200.0ha</td><td>205.0ha</td><td>210.0ha</td><td>136.0ha</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>199.2ha</td><td>211.8ha</td><td>63.0ha</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作付面積に対する取組面積
※新規・継続含む</td><td>目標</td><td>15.0ha</td><td>16.0ha</td><td>17.0ha</td><td>23.7ha</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>16.1ha</td><td>16.7ha</td><td>15.3ha</td><td></td></tr>
<tr><td>内　　容</td><td colspan="5">新市場開拓用米を複数年契約を結んだ面積に対して支援する。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="5">〇助成対象者～出荷契約等に基づき、助成対象作物の作付を行った農業者。

〇取組要件
１．助成対象者（又は集荷団体）が需要者（又は需要者団体）と、次のすべての要件を満たす販売契約を締結すること。
①令和８年産以降に新たに締結する契約であること。
②令和８年産以降の連続した３年分を含む複数年契約であること。
③契約書において、各年産の契約数量及び契約価格（契約価格の設定方法を含む）が明確に記載されており、かつ、契約不履行に対する違約規定があること。
④契約対象となる２年目以降の各年産の契約数量が、いずれも前年産の契約数量を下回らないこと。
⑤不作時における契約数量の調整規定があること。
なお、集荷団体が契約主体となる場合は、助成対象者が各年の営農計画書提出期限までに、集荷団体から、契約に結び付く当年分の出荷数量の設定を受けること。
２．コメ新市場開拓等促進事業で採択されていること。
３．助成対象者における当年の出荷・販売数量が、当年分の契約数量（契約に結びつけられた出荷数量）を下回らないこと。（不作時の契約数量調整が行われた場合は、調整後の数量による。）
４．新市場開拓用米の複数年契約２、３年目分については助成対象外とする。
〇取組面積
契約数量（契約に結びつけられた出荷数量）を、新規需要米取組計画書に記載の対象作物に係る単収で除して得た面積とする。（不作時の契約数量調整が行われた場合は、調整後の数量による。）</td></tr>
<tr><td>取組の確認方法</td><td colspan="5">〇地域協議会等において確認
〇営農計画書、交付申請書、現地確認、販売（出荷）契約書、集荷団体から提示を受けた契約に結　びつく当年産の出荷数量が分かる書類、新規需要米取組計画書・新規需要米自家加工販売計画（実績）書・利用供給協定・自家利用計画・新規需要米認定結果通知書・新規需要米出荷契約数量等農業者別一覧表、出荷（販売）伝票等</td></tr>
<tr><td>成果等の確認方法</td><td colspan="5">〇地域協議会等において確認
〇営農計画書、交付申請書、現地確認、販売（出荷）契約書、集荷団体から提示を受けた契約に結びつく当年産の出荷数量が分かる書類、新規需要米取組計画書・新規需要米自家加工販売計画（実績）書・利用供給協定・自家利用計画・新規需要米出荷契約数量等農業者別一覧表、出荷（販売）伝票等</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="5">支援年限　令和8年度まで</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和８年度から新規に設定した目標については、令和７年度以前の目標の記載は不要です。

野菜・花きの作物名一覧表

	対象作物
野菜	きゅうり
	トマト
	なす
	ピーマン
	かぼちゃ
	いちご
	すいか
	メロン
	キャベツ
	はくさい
	ほうれんそう
	ねぎ
	たまねぎ
	レタス
	だいこん
	えだまめ
	青さやいんげん
	未成熟とうもろこし
	ばれいしょ
	アスパラガス
	きのこ
	とうがらし
	オクラ
	サルリー
	カリフラワー
	ブロッコリー
	しゅんぎく
	みつば
	せり
	ぱせり
	ふき
	しそ
	薬用にんにく
	にんにく
	にら
	みょうが
	食用花
	かぶ
	ごぼう
	やまのいも（ながいも）
	青さやえんどう
	食用ゆり
	わさび
	まくわうり
	しろうり
	にがうり
	うずら豆
	野菜苗
	モロヘイヤ
薬草	品種
	当帰
	黄耆
	その他薬草

	対象作物	
	品目	品種
花卉	HBSシネンシス	HAC（白）
		KBC（黄）
		L051（黄）
		イエロー
		オレンジ
		カナリーダイヤモンド（黄）
		キノキャンパス（白）
		キノシフォンⅡ（ピンク）
		キノスパーク（白）
		キノパッション（ピンク）
		キノブラン（白）
		キノブランⅡ（白）
		キノブランUR（白）
		キノホイップ（白）
		キノラパン（黄）
		キノルージュ（ピンク）
		クールダイヤモンド（白）
		クリアダイヤモンド（白）
		ゴールデンダイヤモンド
		スカーレットダイヤモンド（濃桃）
		ソウルダイヤモンド（ピンク）
		パイナップルダイヤモンド
		ビクトリアダイアモンド（黄）
		ピュアダイヤモンド（白）
		ピンク
		フラミンゴ（ピンク）
		フランボワーズ（ピンク）
		ブリスピンク（ピンク）
		ポルトダイヤモンド（ピンク）
		ホワイト
		マルチーズ（白）
		ミックス
		旭（オレンジ）
		綾姫（ピンク）
		雲　海（白）
		雅（ピンク）
		漁火姫（ピンク）
		京小町（ピンク）
		京姫（濃ピンク）
		京舞（ピンク）
		琴姫（ピンク）
		紅天（赤ピンク）
		紅姫（ピンク）
		山吹（黄）
		春彩（ピンク）
		初恋（淡ピンク）
		静流（白）
		千鳥姫（ピンク）
		桃山（淡ピンク）
		陶酔（ピンク）
		濃ピンク
		白流（白）
		微笑（ピンク）
		満月（ピンク）
		妙高（濃ピンク）
		楼蘭（赤ピンク）

野菜・花きの作物名一覧表

	対象作物	
	品目	品種
花卉	HBスターチス	エバーライト
	HBスターチス2	2QV(ミヨシ試作)
		コロナディープブルー
		コロナパープル
		コロナブルー
		ミシガンブルー
		ミックス
	アスター	ココットパープル
		ココットピンク
		ココットレッド
		ハナパープル
		ハナピンク
		ハナホワイト
		プチスカーレット
		プチパープル
		プチローズ
		マッシュラベンダー
		ミックス
	アナベル	グリーン
		スターバーストグリーンホワイト
		ビッグ　グリーン
	アナベル(縦箱)	フレッシュ　グリーン
		フレッシュピンク
	アリウム	スカイパフューム
		パープルセンセーション
		パフュームミックス
		ブルーパフューム
		ブルーパフューム(WAVE)
	アルケミラ	アルケミラモーリス
	アルストロメリア	Divali
		アバランチェ
		イエロープリンス
		ギャラクシー
		シャネル
		ドバイ
		ヒラド
		フィレンツェ
		プレシャス
		ホイットニー
		ホワイトハート
		ミックス
		ミルクティ
	エキノプス	ブルーグロー
		ベッチーズブルー
	エリンジューム	ブルーベル
		マジカルブルーラグーン
		リーベンウォルシー
	オーニソガラム	サンデルシー
		サンデルシー(WAVE)
	おもちゃかぼちゃ	Baby　Bear
		Baby　Bear(顔付)
		Baby　Bearプレミアム
		Galaxy　of　Stars
		Honey　Bear
		Jack　Y　Middle
		イエロースター
		ウィービーリトル
		オータムクラウン
		カーニバル
		カスペリータ

	対象作物	
	品目	品種
花卉	おもちゃかぼちゃ	カスペリータ・カスタード
		サンライト
		スウィートタンブリング
		スノーボール
		スノーボール・カスタード
		スノーボールプレミアム
		ターバン
		タンブリング・グリーン
		テンコマンドミックス
		トリック
		トリック顔付MIX
		フーリガン
		プチ・ケーキミックス
		ブッシュ
		フライングソーサー
		ブラックファンタジー
		フルーツミックス
		ベイビーブー
		ミニパンプキン
		恐竜のたまご
		プッチーニ
	おもちゃかぼちゃ2	MEGABear
		オータムオレンジ
		オータムオレンジ(顔付)
		オータムオレンジPremium
		オータムナッツ
		ジャラーデール
		トライアンブル
		トンダパダナ
		トンダパダナ・スノーホワイト
		ビッグターバン
		ポーセリン・ミックス
		ポーセリンドール
		マスキーグリーン
		マスキードプロバンス
		ミックスジャンボ
		ムーンシャイン
		ムーンシャイン・カスタード
		ルージュヴィデタンプ
	カラー1	グリーンゴッテス
		ホワイトフル
	カラー2	アスペン(ホワイト)
		キャプテンベンチュラ(ホワイト)
		キャプテンロマンス(ピンク)
		クリスタルピンク(ピンク)
		クリスタルブラッシュ(ホワイト)
		ダブル(ホワイト)
		ダブルミックス
		ピカソ(パープル)
		ピンククラウド(ピンク)
		ブラックパンサー(チョコレート)
		リーフ　ピカソ
		リトル系ミックス
	コスモス	ピコティー
		ベルサイユ
		ホワイト
		ミックス
	サンダーソニア	サンダーソニア
		匠
	シヌアータ2	ミックス(束)

野菜・花きの作物名一覧表

	対象作物	
	品目	品種
花卉	シネンシス2	ミックス(束)
	シャクヤク	BLOOMエルササース
		BLOOMコーラルチャーム
		BLOOMサラ・ベルナール
		BLOOMダッチェスドネムール
		BLOOMピンクドクター
		BLOOMピンクパフェ
		BLOOMマイラブ
		BLOOMミックス
		BLOOMラテンドール
		BLOOM紅河
		BLOOM春の粧
		BLOOM新珠
		BLOOM滝の粧
		BLOOM氷点
		BLOOM富士
		インスペクターラバーニュ(赤)
		エルササース
		カンサス(レッド)
		クリスタルビューティー(ホワイト)
		クロンヌドール(ホワイト)
		コーラルサンセット(橙ピンク)
		コーラルチャーム(橙ピンク)
		サラ・ベルナール(ピンク)
		ダッチェスドネムール(ホワイト)
		ピンクドクター(ピンク)
		ピンクパフェ(ピンク)
		フォッパー(ピンク)
		ホワイトサラベルナール(白)
		ホワイトスプレー
		マイラブ(ライトピンク)
		マザーズチョイス(白)
		ミスアメリカ(ライトピンク)
		ミックス
		ラズベリーサンデー(淡桃)
		ラテンドール(ホワイト)
		ラテンドール(ライトピンク)
		リチャードカーベル(レッド)
		レッドチャーム(赤)
		ローラデザート(クリーム)
		華燭の典(レッド)
		紅河(レッド)
		春の粧(ピンク)
		新珠(ホワイト)
		晴姿(ピンク)
		滝の粧(ピンク)
		桃山(ピンク)
		桃白妙(ピンクホワイト)
		白雪姫(ホワイト)
		白妙(ホワイト)
		氷点(ホワイト)
		冨士(濃ピンク)
	ジャンボかぼちゃ	アトランティックジャイアント
	スカシユリ	トレザー(オレンジ)
	スカビオサ	スコープミックス
	スターチスシヌアータ	16GJ(青紫)
		T試　1643DBV(青紫)
		T試　1650DBV(青紫)
		T試　1665DB(青紫)
		T試　1682DP(ピンク)

	対象作物	
	品目	品種
花卉	スターチスシヌアータ	T試　1685DP(ピンク)
		T試　アイランドブルー(青紫)
		アイレンピンク(ピンク)
		アラジン(赤紫)
		アンタレス(濃ピンク)
		イースタンバイオレット(青)
		イエロー
		イエローサンバード(黄)
		ウィステリア(青)
		エターナルピンク(濃ピンク)
		オーキッドピンク(ピンク)
		オリゾンバイオレット(青紫)
		オリゾンピンク(濃ピンク)
		オリビア(ピンク)
		カシミヤ(白)
		カムイバイオレット(青紫)
		キャニオンスノー(白)
		クールブルー(青紫)
		クローネバイオレット(青紫)
		サロマパープル(青紫
		ジュエリーイエロー(黄)
		シンジーDラベンダー(青紫)
		スカイサンバード(青)
		スターエーゼ〈黄)
		スプラッシュピンク(ピンク)
		スペースラベンダー(青)
		セイシャルスカイ(青紫)
		セイシャルブルー(青)
		セシリア(ピンク)
		タ試　TU918(青紫)
		タ試　TU919(青紫)
		チャーミーピンク(ピンク)
		トールブルー(青紫)
		ネイビーサンバード(青紫)
		ネオアラビアン(青紫)
		ネオブルー(青)
		ノアール(青紫)
		ノーザンブルースカイ(青紫)
		ノーブルヴィオレッタ(青紫)
		パープルベルベット(赤紫)
		パールブルー(青)
		パインイエロー(黄)
		パピーオレンジ(橙)
		ピリカブルー(青紫)
		ピンク
		ピンクキッス(ピンク)
		ファーストレディー(ピンク)
		ファインブルー(青)
		ブライダルクィーン
		ブルーナイル(青)
		フレンチバイオレット(赤紫)
		フレンチピンク(ピンク)
		ペルソナ(赤紫)
		ボニージュエル(濃ピンク)
		ホワイト
		ホワイトクラウン(白)
		マーブルグリーン
		ミックス
		ミ試　17DP(青)
		ムラサキ

野菜・花きの作物名一覧表

	対象作物	
	品目	品種
花卉	スターチスシヌアータ	メキシカンパープル（赤紫）
		モナリザ（濃ピンク）
		ライトブルー（青）
		ラスターアメジスト（青紫）
		ラッキーアメジスト（青紫）
		ルリイロ（青紫）
		ローレンスブルー（青紫）
		紫龍（青紫）
		住試　FP1677（ピンク）
		濃ピンク
		福試　D（青紫）
		福試　H15__40（青紫）
		福試　H15__42（青紫）
		福試　H15__7（青紫）
	ストック	イエローレボリューション
		ホワイトレボリューション
	スナップ	バタフライ　アプリコット
		バタフライ　イエロー
		バタフライ　オレンジ
		バタフライ　ピンク
		バタフライ　ホワイト
		バタフライ　ミックス
		バタフライ　ライトピンク
	その他1	イエロークイーン（バラエティ）
		エレムルス　ホワイト
		エレムルス　ミックス
		クジャクソウ　キャッシー
		グラスジェムコーン（枝仕立）
		ケイトウオレンジQ（バラエティ）
		ケイトウローズQ（バラエティ）
		ケイトウ麗炎（バラエティ）
		スピードリオン
		チャームブルー
		ブラックベリー
		ホオズキ
		ホオズキ（曲り）
		ホオズキ（実）
		ホオズキ（葉無）
		モルセラ
		リアトリス
		ワレモコウ
	その他2	アストランティア　ローマ
		グラスジェムコーン
		ナルコ百合
		ニゲラ　ブルー
		ニゲラ　ホワイト
		ニゲラ　ミックス
		ニゲラの実
		ブルビネラ　イエローG
		ムスカリ
		ルドベキア　グリーンウィザード
	その他3	アスチルベ　グリッター＆グラマ
		アスチルベ　プロニー（白）
		アスチルベ　マイティフィル
		アスチルベ　マイティレッドクイ
		アスチルベ　ミックス
		ガーベラ　ケンタッキー（橙）
		ガーベラ　ミックス
		スカビオサ　スコープMIX
	ダリア	アジタート（赤）

	対象作物	
	品目	品種
花卉	ダリア	アトム（紫）
		アプリコット
		インカローズ（濃ピンク）
		エオナG（ピンク）
		オレンジストーン（オレンジ）
		ガーネット（赤）
		かまくら（白）
		シベリア（白）
		ダイヤモンドダスト（白）
		ナマハゲオータム（橙）
		ナマハゲソレイユ（橙）
		ナマハゲノアール（黒赤）
		ナマハゲパープル（赤紫）
		ナマハゲビューティー（紫／白）
		パープルエレガンス（赤紫）
		ハミルトンジュニア（オレンジ）
		ハミルトンリリアン（橙）
		バラエティミックス
		ピュアオレンジ（橙）
		ピンククォーツ（ピンク）
		ピンクダイアモンド（ピンク）
		ヘブンリーピース（白）
		ポートライトペアビューティー
		マジックピンク（ピンク）
		ミックス
		ミッチャン（ピンク）
		ムーンストーン（紫）
		ムーンワルツ（黄色地ピンク）
		レッドストーン（赤）
		影法師（紫／白）
		巨大輪ミックス
		黒蝶（赤黒）
		彩雪（白）
		桜貝（マーブル）
		桜貝（ミックス）
		桜貝（ライトピンク）
		桜貝（ローズピンク）
		純愛の君（赤）
		大雪（白）
		朝日てまり（赤）
		熱唱（オレンジ）
		熱唱（マーブル）
		熱唱（ミックス）
		熱唱（赤）
		白系ミックス（白）
	てまり草	ジャンボ
		ジャンボ　ミックス
		スタンダード
		スタンダード（曲り）
		バラエティ
		バラエティ（曲り）
		バラエティジャンボ
		ミックス
		秋色ジャンボ（マーブル）
		秋色スタンダード
		秋色スタンダード（マーブル）
		秋色バラエティ
		秋色バラエティ（マーブル）
		秋色バラエティジャンボ
		秋色バラエティジャンボ（マーブル）

野菜・花きの作物名一覧表

	対象作物	
	品目	品種
花卉	てまり草2	スタンダード
		スタンダード(曲り)
		バラエティ
		バラエティ(曲り)
		ブラシ
		ブラシ(曲り)
		秋色スタンダード
		秋色スタンダード(マーブル)
		秋色バラエティ
		秋色バラエティ(マーブル)
		秋色バラエティ(曲り)
		秋色ブラシ
		秋色ブラシ(マーブル)
	デルフィニューム・C	スーパーグランブルー
		スーパグランブルーSD
	デルフィニューム八重	オーロラディープパープル
		オーロラブルーインプ
		オーロラミックス
		オーロラモーヴ
	トルコギキョウ	Jラズベリー(濃桃八重)
		アンバーダブルパープル(赤紫八
		アンバーダブルバーボン(茶八重)
		アンバーダブルホップ(緑八重)
		アンバーダブルミックス
		アンバーダブルミント(緑八重)
		ウェディングホワイト(白八重)
		エグゼラベンダー(淡紫八重)
		クラリスピンク(淡桃八重)
		クレアダブルピンク(桃八重)
		コレゾライトピンク(淡桃八重)
		サブリナオレンジ(橙八重)
		ジュリアスラベンダー(淡紫八重)
		セレブイエロー(黄八重)
		セレブグレープ(淡紫八重)
		セレブターンミックス
		セレブハニーピンク(橙八重)
		セレブピンク(桃八重)
		セレブプリンセス(桃八重)
		セレブマドンナ(桃八重)
		セレブミックス
		セレブミントグリーン(緑八重)
		セレブラブリーピンク(桃八重)
		パティオオレンジ(橙八重)
		パティオホワイト(白八重)
		パティオモアオレンジ(橙八重)
		パティオラベンダー(淡紫八重)
		ハピネスホワイト(白八重)
		ボヤージュライトアプリコット
		ボレロフレアホワイト(白八重)
		マリアホワイト(白八重)
		ミンクマリン(紫覆輪八重)
		ラフールライトピンク(淡桃八重)
		レイナピンク(桃八重)
		レイナブルーフラッシュ(紫八重)
		レイナホワイト
		ロジーナピンク(桃八重)
		冬のマリア(白八重)
		八重ミックス
	ハイドランジア	A／Gライトパープル
		HARA A／Gカラーミックス

	対象作物	
	品目	品種
花卉	ハイドランジア	アンティーク パープル
		アンティーク ピンク
		アンティーク ブルー
		アンティーク ライトピンク
		アンティーク レッド
		アンティークカラーミックス
		アンティークグリーン／パープル
		アンティークグリーン／ピンク
		アンティークグリーン／ブルー
		アンティークグリーン／ライトP
		アンティークグリーン／レッド
		アンティークライトパープル
		カラーミックス
		パープル
		ピンク
		ブルー
	ビバーナム	スノーボール
		雪中 スノーボール
		雪中スノーボール(BLOOM)
		促成スノーボール
	ヒマワリ	SKO 401
		サンリッチFオレンジUP
		サンリッチFレモンUP
		サンリッチオレンジ
		サンリッチパイン
		サンリッチバレンシア
		サンリッチフレッシュオレンジ
		サンリッチマンゴー
		サンリッチマンゴーUP
		サンリッチレモン
		スターバーストレモンオーラ
		ビンセントクリアオレンジ
		ビンセントクリアレモン
		ミックス
		りんぞう
		レモネード
	ヒマワリ2	サンリッチFレモンUP
		サンリッチオレンジ
		サンリッチパイン
		サンリッチバレンシア
		サンリッチフレッシュオレンジア
		サンリッチマンゴー
		サンリッチマンゴーアップライト
		サンリッチレモン
		スターバーストレモンオーラ
		ビンセントクリアイエロー
		ミックス
	ヒメヒマワリ	旭
	フサスグリ	フサスグリ
		フサスグリ(グリーン)
	ブプレウラム	グリーンゴールド
	ブルースター	シェーンブルー
		ピュアブルー
		ピントホワイト
	ペレジーハイブリット	シンジーチーク
	ミナヅキ	オータム フレイズ
		カラーミックス
		ピンク
		ホワイト
		ミントグリーン(SM)

野菜・花きの作物名一覧表

	対象作物	
	品目	品種
花卉	ミナヅキ	ライトピンク
		秋色
	ラークスパー	ピンク
		ホワイト
		ホワイトスプレー
		ミックス
		ライトピンク
		ライラック
	りんどう	しなの
		しなの(WAVE)
		しなの60　2
		ながの
		ながの(WAVE)
		ながの60　2
		パステル
		ホワイト
		ミックス
		ミックス(WAVE)
	花木1	ウメモドキ(オレンジ)
		ウメモドキ(マジカルベリー)
		ビバーナム　コンパクタム
	花木2	シンフォリ　グリーンパールF
		シンフォリ　スカーレットパール
		シンフォリ　チャーミング
		シンフォリ　マジカルアバランジ
		シンフォリ　マジカルオータムB
		シンフォリ　マジカルトレジャー
		シンフォリ　マジカルメロディ
		シンフォリ　ミックス
		スモークツリー　グリーンファー
		スモークツリー　ファー2
		ビバーナム　デンタタム
		ビバーナムコンパクタム(葉無)
		ヒペリカム　グリーンコンドル
		ヒペリカム　ミックス
		紅葉ヒペリカム
		梅花ウツギ
	花木3	カシス(実付)
		カシスの葉
		コティナスロイヤルパープル
		スグリの葉(小葉)
		テマリシモツケ　ディアボロ
		テマリシモツケ　ミックス
		テマリシモツケ　ルテウス
		テマリシモツケ　ルテウス(紅葉)
		テマリシモツケ　ルテウス(実付)
		ハイドランジアアンティークSP
		ビバーナム　オノンダガ
		ベビーハンズ
		ベビーハンズ　ミックス
		ベビーハンズ(大葉)
		ベビーハンズ紅葉
	新鉄砲百合	オーガスタ
	柳類	サンゴミズキ
		サンゴミズキ　バイカラー
	鈴バラ	よしのスズバラ
	鈴バラ(ハーフ)	よしのスズバラ

・整理番号6　　全作物対象

地力増進作物名一覧表

	対象作物
地力増進作物	えん麦
	えん麦野生種
	ライ麦
	とうもろこし
	イタリアンライグラス
	ソルガム
	クロタラリア
	ギニアグラス
	スーダングラス
	ハブソウ
	ステビア
	ミックスフラワー
	大豆
	アカクローバ
	クリムソンクローバ
	ヘアリーベッチ
	シロカシラ
	なたね
	マリーゴールド
	ねぎ
	ひまわり
	ハゼリソウ